

就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験

令和4年度 国 語 (40分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は全16ページです。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの^{らくちょう}落丁・^{らんちょう}乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手をあげて試験監督者に知らせなさい。
- 3 試験開始の合図の後、受験地、受験番号、氏名を解答用紙に記入しなさい。
- 4 解答は、各設問の指示に従い、全て解答用紙の解答らんに記入しなさい。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってかまいません。

1

次の1から5までの問いに答えなさい。

1 次の①から④までの各文の——線部のカタカナの部分に当たる正しい漢字を、それぞれのアからウまでの中から一つずつ選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

- | | | | | | | | |
|---|------------------|---|----|---|----|---|----|
| ① | 商品の製造カ テ イを記録する。 | ア | 過程 | イ | 仮定 | ウ | 課程 |
| ② | 体力の向上をハ カ る。 | ア | 計 | イ | 図 | ウ | 量 |
| ③ | 学問をオ サ める。 | ア | 収 | イ | 治 | ウ | 修 |
| ④ | 電車を二度乗りカ え る。 | ア | 代 | イ | 換 | ウ | 変 |

2 次の①と②の各文の——線部の漢字の正しい読み方を、それぞれのアからエまでの中から一つずつ選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|--------------|---|-------|---|-------|---|------|---|------|
| ① | 自伝を著 す。 | ア | あらわ | イ | もの | ウ | のこ | エ | しる |
| ② | それは既 出 の問題だ。 | ア | こうしゅつ | イ | がいしゅつ | ウ | がしゅつ | エ | きしゅつ |

3 次の①と②の各文の——線部の漢字の正しい読み方を、解答らんにひらがなで書きなさい。

- ① 危|う|く転びかける。
- ② 故郷へ帰省|する。

4 次の①と②の に共通して当てはまる言葉はどれか。それぞれのアからエまでの中から一つずつ選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

① が高い が届く にあまる をつぶる

ア 鼻 イ 頭 ウ 耳 エ 目

② を差す を打ったよう に流す に慣れる

ア 水 イ 油 ウ 墨 エ 火

5 次の①と②の () に当てはまる言葉はどれか。それぞれのアからエまでの中から一つずつ選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

① お客様、こちらの商品を ()。

ア ご存じください イ 拝見ください ウ ご覧ください エ お伺いください

② 私は先生からお手紙を ()。

ア くださりました イ いただきました ウ 召し上がりました エ いたしました

次の文章を読んで、後の1から6までの問いに答えなさい。記号で答える問題は、それぞれのAからEまでの中から最も適切なものを選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

A

眠ることが大好きな私は、中学の頃から自分を被験者にして「眠り」にまつわる実験もいろいろと行いました。そして、実験の末に得た自分なりの大発見に、「就寝前記憶効果」(注…当時の私が勝手に名づけたもので、心理学用語ではありません)があります。これは、眠りにつく前の時間帯に入力系の勉強をしておく効率がよいというものです。わずかな手間で、頭が勝手に覚えてくれるといった感じですよ。ちなみに入力系の勉強とは、覚える(記憶する)勉強のことです。問題を解く、あれこれ考えるなどの思考系の勉強は、これに当てはまりません。

就寝中の脳の働きについての知識などまったくなかった私には、この就寝前記憶効果が不思議でなりません。眠っている間に、頭の中でいったい何が起きているのだろうと、よく考え込んだものです。原理はわからないものの、効果が歴然としていたので、就寝前は記憶の時間にすることにしました。すると、副次効果として、何かを真剣に覚えようとしてから眠りにつくると寝つきもよくなるという「おまけ」までついてきました。たぶん、単純な記憶作業が少々退屈だったのと、脳が疲労したことも原因だったのではないかと思います。

眠っている間は意識がないため、私たちは、脳が完全に休んでいるかと思いがちですが、実は、脳は睡眠中にも活動しているのです。その根拠として、²レム睡眠を挙げることができます。

レム睡眠とは、急速眼球運動(Rapid Eye Movement: REM)を伴う睡眠のことです。眠りに落ちてから次第に睡眠は深くなりませんが、その後浅い眠りであるレム睡眠に入ります。一晩の眠りの中では、約九〇分のサイクルでレム睡眠とノンレム睡眠が交互に起こります。

レム睡眠においては、眠っているにもかかわらず、起きている時と同様に脳が活発に活動しており、また、心拍数が増加しています。レムを伴わない睡眠はノンレム睡眠と呼ばれる深い睡眠です。一晩の睡眠中に、レム期とノンレム期が交互に生じ、およそ四五回程度のレム期があるとされています。レム期の脳は、覚醒寸前のところまで行き、再び深い眠りを伴うノンレム期へと移行し

ます。

実は、このレム期には、新しく学んだことを、すでに知っていることと関連づけたり記憶を整理したりする活動が生じ、記憶の定着が生じます。その結果として、必要な時に思い出しやすくなります。また、眠る前には気づかなかった、ある情報と別の情報との関連性に気づきやすくなります。つまり、眠っている間にも学習は進むのです。

このことから、（私が昔考えたような）寝る直前でなくとも、その日に得た情報は就寝中に整理されて定着すると言えそうですが、もう一つ大きな就寝前効果を挙げることができません。それは、記憶に逆向抑制がかからないという点です。逆向抑制とは、あることを学んだ直後に別のことを学ぶと、先の学習が妨害を受けてしまうという現象です。眠ってしまえば、その後何も情報が入力されないため、眠りにつく前に入力した情報が守られるというわけです。

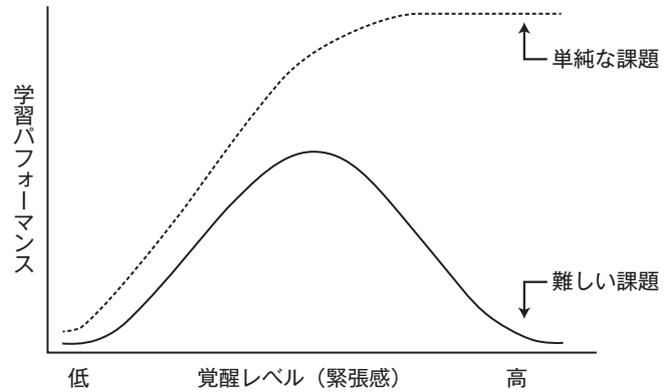
これは、³注意すべき点でもありません。というのは、せっかく就寝前に記憶したとしても、その後、「寝る前にちょっと一息入れよう」と、ネットの記事を見たりすると、今度はその情報が鮮明に残ってしまい、先ほど一生懸命に覚えたことが逆向抑制を受けて水の泡となりかねないためです。油断は禁物です。⁴メタ認知を働かせて、記憶学習の後は、さっさと寝てしまう方がよいでしょう。

B

入学試験などの大切なテストの時にももちろんのこと、人前での発表などにも、緊張しやすい人とそうでない人がいます。特に大勢の人の前で発表する際には、人馴れしていない人は緊張しやすいでしょう。私も昔はそうでした。「緊張して、頭の中が真っ白になる」という表現があるように、過度の緊張は思考力を奪ってしまいます。そこで一般には、緊張しない方が思考力を発揮しやすいと考えがちです。でも、ある時ふと、「本当にそうだろうか」と考えたのです。

実は、幼稚園でほとんど誰とも話さなかった私も、次第に人馴れしてきたせいとか、人前での発表にも上がることが少なくなり、さらにはそのうちテストも平気になりました。すると、時折うまくいかないことが出てきたのです。「もしかすると、リラックスし過ぎてもよくないのだろうか」と思い始めました。かと言って緊張するのもよくないし……。ということで、バランスをとる、つまり適度に緊張するとよいのではないか、という考えにたどり着きました。緊張し過ぎず弛緩もし過ぎずというのは、けっこう難しいのですが、これがうまくいくとよい結果が得られるように感じます。

図 ヤーキーズ・ドッドソンの法則
(Diamondら、2007より作成)



認知活動、つまり頭を使う作業と緊張の度合い（覚醒レベル）との関係については、ヤーキーズ・ドッドソンの法則が参考になります。頭を使う作業は適度な緊張感のもとで最も効果

的になることを、ヤーキーズとドッドソンの二人の心理学者がネズミの学習実験によって発見しました。覚醒レベルが低いと学習パフォーマンスも低いのですが、あるところまでは、

パフォーマンスは緊張感とともに高まります。そして、難しい課題の場合には、緊張が度を越すとパフォーマンスは下がっていきます。一方、課題が単純な場合には、緊張が増してもパフォーマンスは下がらないことがわかっています(図)。

人間の場合も同様に、緊張感がなさ過ぎても、パフォーマンスが上がらないということを知っておくと、頭の働きをよくするのに役立つでしょう。やはり、緊張と弛緩のバランスを上手にとることがポイントのようです。同じ場面に直面した時でも、緊張のレベルは人によって異なります。そこで、ふだんから自分の緊張状態をモニターし、自分にとって最適な緊張レベルを知っておくとよいでしょう。

(三宮真智子『さんのみやまあなたの頭はもつとよくなる』による。)

(注1)メタ認知……自分の考えや思い、判断などについて客観的に捉える能力。

(注2)パフォーマンス……効率。

1 「眠り」にまつわる実験 とあるが、この実験で分かったことについて述べたものはどれか。

- ア 就寝中の脳の働きを活用すると、退屈な作業にも真剣に取り組めるということ。
- イ 眠る前にあれこれ考えて問題を解くと、頭がよく働いて勉強の効果が上がることに。
- ウ 眠りにつく前に覚える勉強をすると、大変な思いをせずに覚えられること。
- エ 思考系の勉強をしておいてから就寝すると、寝つきがよくなるということ。

5

B

より後の文章の特徴について述べたものはどれか。

ア 筆者の経験から話題を提示し、根拠を具体的に説明した上で主張を述べている。

イ 他の研究者の意見を複数引用することで、筆者の主張の説得力を高めている。

ウ 図を用いることで、就寝中の記憶に関する情報を整理し、論を進めている。

エ 筆者の主張を冒頭で明確に述べてから、その根拠を詳しく説明している。

6

A

と

B

に入る小見出しの組み合わせとして適切なものはどれか。

ア A…理解・納得こそ最高の記憶術 B…就寝前は記憶のゴールデンタイム

イ A…就寝前は記憶のゴールデンタイム B…理解・納得こそ最高の記憶術

ウ A…理解・納得こそ最高の記憶術 B…緊張と弛緩の絶妙なバランス

エ A…就寝前は記憶のゴールデンタイム B…緊張と弛緩の絶妙なバランス

次の文章を読んで、後の1から6までの問いに答えなさい。記号で答える問題は、それぞれのAからEまでの中から最も適切なものを選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

高校に入学した楓は、地域の弓道会に入会し、弓道を始めた。八月になり、同じ弓道会で熱心に練習に取り組んでいた高校三年生の乙矢が段級審査を受けたが、不合格となった。審査後の練習では、うまく的に中てたにもかかわらず不合格となった乙矢のことを弓道会の仲間も気にしていたが、乙矢は練習に來なかつた。その翌日、楓が、朝のジョギングの途中で弓道場に寄ると、以前、親切に指導してくれた老人の国枝が練習していた。そこで、楓も一緒に練習させてもらうことになり、更衣室で着替えを済ませて、練習を行う射場に向かつた。

「それで、あなたは私に何をしてほしいのですか？」

国枝の声がはっきり聞こえてきた。

「僕の射を見てほしいんです」

相手の声には聞き覚えがある。乙矢だ。声の調子が切迫している。楓はまずいとところに居合わせてしまった、と思った。更衣室に戻って隠れていようか、と迷つたが、それより先に乙矢の視線が楓をとらえた。乙矢の目が驚きで見開かれた。

「なんで、きみがここに？」

乙矢の声は裏返っている。楓が答えあげてみると、国枝が代わって返事をした。

「ジョギングでここを通りかかつたので、私がいっしょにやろうと誘つたんだよ。この子は無段だけど、うちの弓道会に所属しているっていうから」

「そうだったんですね」

納得したような、していないような返事だつた。それどころではない、という切羽詰まつた雰囲気乙矢はまもつていた。

「では、僕の方も見てもらえますか？」

「いいですよ。あなたも着替えていらっしやい」

それで、乙矢は自分の使っている弓を取り出して弦を張ると、更衣室へと向かった。

国枝は乙矢のことなど気にしていない様子で、楓に話し掛ける。

「じゃあ、巻藁まきわらをやってみましょうか？」

「はい」

そして、巻藁の前で国枝の指導を受けると、着替えを終わった乙矢が出て来た。

「せっかく三人いるんだから、審査の動きでやりましょう」

乙矢は少し驚いたようだったが、「はい」とうなずいた。

「立ち位置はどうしましょう？」

乙矢が尋ねる。

「あなたに大前おほまへをやってもらって、私が落ちおちでいいですか？」

「はい」

乙矢が同意した。楓は真ん中に立つ。大前のタイミングに合わせればいいので、真ん中は気楽だ。日頃の練習でも、いちばん経験の浅い人間が真ん中に、いちばん格上の人間が落ち、つまりいちばん後ろを務めることが多い。

そして、射場の隅に三人で立つ。乙矢の背中が目の前にある。背筋がぴんと伸びて、きれいな立ち姿だ。お辞儀をして入場をする。

乙矢は楓より背が高いので、その分歩幅も広い。楓はいつもより少し速いテンポで歩く。楓はまだ袴はかまの扱いに慣れていないので、座ったり立ったりするタイミングが少し遅れ気味だ。そして、跪坐せうざの姿勢を取ると、後ろから立っている乙矢を見る。乙矢の身体からだには力がみなぎっている。その目は楓の位置からは見えないが、きっと視線は怖いほど鋭く、的をにらんでいるのだろう。いつもそうであるように。

乙矢の射は力強く、一直線ちくせんで的中あった。続く楓の射は三時の方向に矢が逸それた。国枝は力みなく真ん中まに中てる。二射目も同様に、乙矢と国枝は的中ちゆうで、楓だけ大きく外した。

退場して矢取りをして戻って来ると、乙矢が待ち構えたように国枝に尋ねた。

「どうでしたか？」

はやる乙矢を、まあまあ、というように国枝は制した。

「私より先に、このお嬢さんに感想を聞いてみましょう。この前、ふたりでやった時と比べて、どうでしたか？」

「あの時はふたりだったし、立ち順も違うので、単純な比較は難しいんですけど」

いきなり話を振られて、楓は少し口ごもった。何と言え、乙矢のことをうまく表現できるだろう。

「今回は、二番目だったので、大前に合わせなきゃ、ということを考えて、ちよつと焦あせりました。歩幅が違うので、早く歩かなきゃいけないし。前は自分が大前だったので、自分のペースでできたんですが」

乙矢の顔がさつと（A）。何か自分はずいことを言っただろうか、と楓は思う。

「乙矢くんの射についてはどう思いましたか？」

「カッコよかったです。的を絶対外さない、という気迫を感じました」

楓は乙矢をフォローしたつもりだったが、乙矢の顔はさらに（B）。逆効果だったようだ。

「わかりましたね。このお嬢さんが、あなたの射の欠点をみごとに見抜いている」

「はい」

乙矢が力なくうなだれる。楓には、訳がわからない。

「あなたは何をそんなに焦っているのですか？ それ射に表れている」

「焦っている……？」

「審査当日の射を見てないので、これはあくまで私の考えですが」

³ 国枝は優しい目で乙矢を見ながら、一語一語言葉を選ぶようにゆっくり語った。

「あなたの射型はきれいだし、的中もする。参段なら合格にしてもよかったかもしれない。だけど、若い方には正しい射を身に付けてほしい、という思いが我々先人にはあるんです。だから、あえて厳しくみる、そういうことだったのかもしれませんが」

国枝の言葉を噛かみしめるように、乙矢は視線を下に向けている。

「問われているのは技術ではなく、弓に向かう姿勢ではないでしょうか」

「弓に向かう姿勢……」

乙矢は深い溜め息を吐いた。

「ありがとうございます。もっと精進いたします」

精進なんて古い言葉、よく使えるなあ、と楓は感心して聞いている。

乙矢は弓と矢をしまい、「ありがとうございます」と弓道着のまま出て行った。その顔は暗く、もやもやしたものを胸に抱えているようだった。乙矢の姿が見えなくなると、楓は国枝に聞いた。

「私、何か乙矢くんについて、まずいことを言ったのでしょうか？ 乙矢くんの射、とてもいいと思ってるんですけど」
それを聞いて、国枝は微笑んだ。

「いえ、正直に話してくれて、乙矢くんも感謝してると思いますよ」

「だけど……」

自分の言葉を聞いて、乙矢はショックを受けたようだ。乙矢を貶めるようなことを口にしてしまったのではないだろうか、と楓は気にしている。

楓の想いを察したのか、国枝は優しい目をしたまま説明した。

「そろって弓を引く場合には大前のタイミングにみんなが合わせるものですが、一方で大前こそ続く人たちのことを把握しておかなければならない。双方がお互いのことを意識しあって、初めて三人が一体となるんです。あなたが焦った、ということは、大前があなたの歩く速度を考慮していなかった、あなたのことが見えてなかった、ということなんです」

確かに、国枝とやった時のような安心感、一緒に弓を引いている、という充実した気持ちはなかった。乙矢に遅れまい、とするだけで精一杯だった。

「それに、射をする時には『中ててやろう』という意識を剥き出しにしてはいけません。そういう姿勢は醜いとされているんです」
「なぜですか？ 弓を引く時は誰だつて中てよう、と思うんじゃないですか？」

楓の言葉に、国枝は再び微笑んだ。

「教本通りの答えで言うなら、的に囚われているのは美しくない、ということになります」

(碧野圭『凜として弓を引く』による。)

(注1) 段級審査……弓道の技量等に依じて与えられる位を認定する審査。このとき、乙矢は「参段」という位の審査を受けた。

(注2) 巻藁……藁を束ねたもので、弓の練習の的などに使用するもの。

(注3) 大前……数人で弓を射るとき、最初に射る人。

(注4) 落ち……数人で弓を射るとき、最後に射る人。

(注5) 跪坐……爪先を立てた状態で膝を床に付け、腰を下ろした姿勢。

1 楓が答えあぐねていると とあるが、楓のどのような様子を表しているか。

ア 答える気分ではなくなってふてくされている様子。

イ どう答えたらよいか分からなくて困っている様子。

ウ 答えようと思ったことを忘れて不安になっている様子。

エ 勇気を出して答えを言おうと意気込んでいる様子。

2 乙矢の射は力強く、一直線での的中²。続く楓の射は三時の方向に矢が逸れたとあるが、この表現の特徴を説明した文はどれか。

ア 二人が射た矢の飛んでいく様子の違いを端的に捉え、対照的に表現している。

イ 二人が集中して弓を射る様子の違いを細部まで捉え、ありのままに表現している。

ウ 二人が射た矢の飛んでいく様子を順序立てて捉え、直喩を用いて表現している。

エ 二人が集中して弓を射る様子を乙矢の感覚を通して捉え、筋道立てて表現している。

3 (A)と(B)に当てはまる言葉の組み合わせとして適切なものはどれか。

- ア A晴れた B やつれた
- イ Aふくれた Bほころんだ
- ウ A曇った Bゆがんだ
- エ Aかげった Bやわらいだ

4 国枝は優しい目で乙矢を見ながら、一語一語言葉を選ぶようにゆっくり語った とあるが、このときの国枝の気持ちはどれか。

- ア 参段に合格するまであと一歩だと励まして、練習に熱心に取り組む楓を見習うべきだと伝えようとしている。
- イ 参段に合格するのは難しいと示しながら、諦めてはいけなくと希望をもつことの大切さを伝えようとしている。
- ウ 欠点を指摘されて怒りを感じている乙矢をなだめ、参段に合格するまで努力してほしいと伝えようとしている。
- エ 参段に合格する力は認めながらも、乙矢が気付いていない弓道での大切な心のもち方を伝えようとしている。

5 乙矢の姿が見えなくなると、楓は国枝に聞いた とあるが、その理由はどれか。

- ア 乙矢に対して言っではいけないことを口にしたのではないかと心配になったため。
- イ 国枝が乙矢の射の技術を認めなかったのは、自分の発言に原因があると考えたため。
- ウ 昔の立派な言葉を乙矢が使っていたのを聞き、その意味を確かめたかったため。
- エ 自分は良いと思っていた乙矢の射を認めなかった国枝の考えを理解したかったため。

田中さんは、「言葉」というテーマでプレゼンテーションを行うことになりました。次の【田中さんがプレゼンテーションで話した内容】を読んで、後の1から3までの問いに答えなさい。記号で答える問題は、それぞれのAからEまでの中から最も適切なものを選び、解答らんの記号を○で囲みなさい。

【田中さんがプレゼンテーションで話した内容】

みなさんは、日頃自分が話す言葉について考えていますか。私はこれまであまり考えてきませんでした。

ある日、家族と食事に行ったときのことです。注文したものが運ばれてきたとき、店員さんが「こちらが、ハンバーグになります。」と言いました。その後、家族で「になります」と「でございます」のどちらが正しいのかという話題になりました。

結局、結論は出なかつたのですが、それから、私は日頃話している言葉に興味がわき、自分でも調べるようになりました。

インターネットで調べてみると、文化庁が「国語に関する世論調査」を毎年行っていることが分かりました。その中から私が注目したのは、令和二年度に行われた「気になる言葉」に関する調査結果です。

まず、一枚目のグラフを見てください。「じみに」という言葉の使い方注目すると、「じみに痛い」のような言い方は、一般的には約四割の人が使っています。二枚目のグラフを見てください。年代別では、十六歳から十九歳の人が最も使っています。私も「じみに」という言葉を日常会話の中でよく使います。しかし、三枚目のグラフを見てください。「じみに痛い」という言い方は、六十代以上の人には違和感があることが、このグラフから分かります。相手によっては、この言葉の使い方に違和感を覚えたり、伝わらなかつたりすることがあるのだと気付きました。

会話では、相手や状況によって言葉を選ぶことが必要だと分かりました。みなさんも改めて自分が話している言葉を振り返ってみてはどうでしょうか。

1 田中さんのプレゼンテーションの工夫として最も適切なものはどれか。

ア 話の要点を最初に説明することで、聞き手が理解しやすいように工夫している。

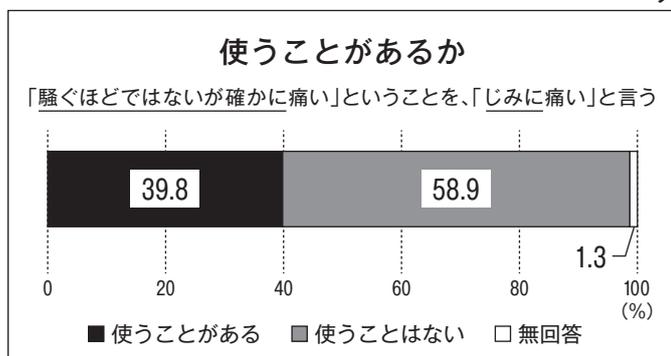
イ 話題に番号を振りながら説明することで、話の順序が明確になるように工夫している。

ウ 実際の経験を最初に話すことで、聞き手が話題に興味をもてるように工夫している。

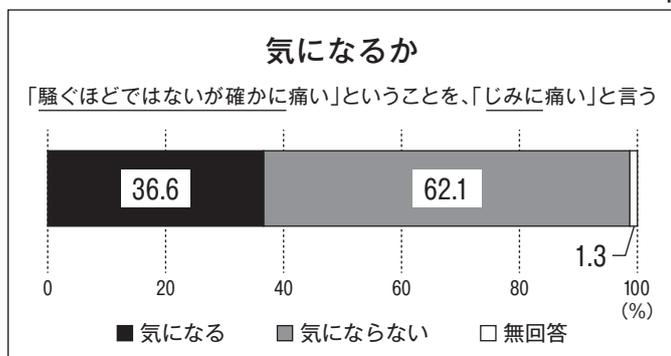
エ 問いかけを多く用いることで、聞き手が自分の意見をもてるように工夫している。

2 このグラフとあるが、ここで用いたグラフとして適切なものはどれか。

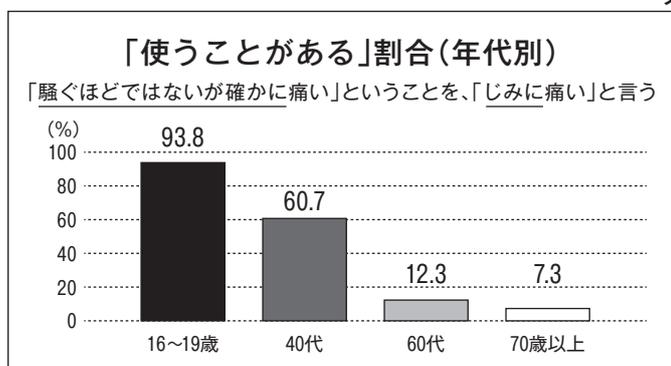
ア



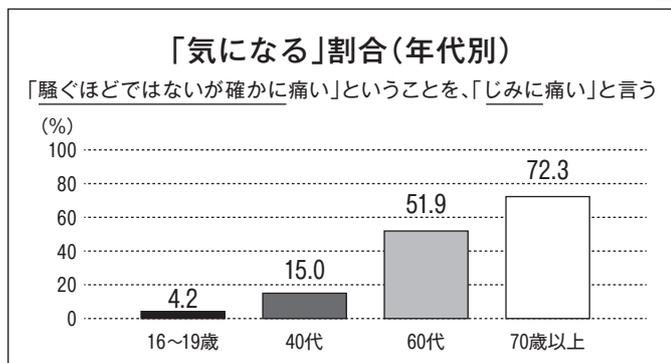
イ



ウ



エ



3 田中さんがプレゼンテーションを通して聞き手に伝えようとしたことを一文でまとめなさい。